

「科学技術イノベーション政策のための科学 研究開発プログラム」プログラムサロン（第5回）
「 科学技術イノベーション政策のための科学として、
「経済学」に何を期待できるのか? 」

現政権では「経済の再生」が最重要課題になっており、科学技術の研究成果から経済的な価値が生み出されることへの期待はますます増えています。「科学技術イノベーション政策のための科学」の公募プログラムにおいても、当初から経済学的な視点は重要視されており、経済的効果や社会的価値の測定に関する方法論の開拓が望まれています。経済学分野の研究者がリードあるいは参画するプロジェクトも数多く採択されています。

他分野の研究者・産業界のステークホルダー・行政担当者などは、経済学の研究者の参画に対して、どのような期待ができるのでしょうか。また、経済学の研究者は、他分野からどのような期待をかけられていると認識しているのでしょうか。

今回のサロンでは、特に世界の経済学教育で必修科目とされている「マクロ経済学」「ミクロ経済学」に注目して、これらを専門外の方々にも分かるように紹介していただきながら、「科学技術イノベーション政策のための科学」として「経済学」に何を期待できるのか、一緒に考えてみたいと思います。

多くの分野・異なる立場の皆様のご参加をお待ちしています。フランクな議論の場ですので、どうぞお気軽においでください。

【日時】2014年1月22日（水）17:30 ~ 20:00

【場所】JST 東京本部別館 2階セミナー室（千代田区五番町7 K's 五番町）

<http://www.ristex.jp/stipolicy/site/contact.html>

【参加登録】①お名前 ②ご所属・役職 を stipolicy@ristex.jp までご連絡ください。

【参加費】100円（茶菓代）

【参考1：プログラム全体と本サロンの位置づけ】

JST 社会技術研究開発センター「科学技術イノベーション政策のための科学 研究開発プログラム」(<http://www.ristex.jp/stipolicy/index.html>)では、客観的根拠（エビデンス）に基づく政策の企画立案や、政策立案に反映させる評価及び検証を目的として、平成23年度から16の研究開発プロジェクトがスタートしています。各プロジェクトについては途中成果も公開し、政策担当者や他の研究者との間で情報や問題意識を共有し、現実の政策形成に活用できるプロジェクトにしていくための議論を深めたいと考えています。

今回は、第5回目のプログラムサロンとして、以下の2人のプロジェクトリーダーに、経済学と科学技術イノベーション政策のための科学との関係をそれぞれ紹介していただき、合わせて各プロジェクトとの関係などもお話いただきます。

- 1) 「マクロ経済学と科学技術イノベーション政策のための科学」（一橋大学 榎井誠）
- 2) 「ミクロ経済学と科学技術イノベーション政策のための科学」（一橋大学 青木玲子）

【参考2：大学の経済学教育における「マクロ経済学」「ミクロ経済学」】

現在、日本学術会議では、各教育分野で「大学教育の分野別質保証と参照基準」の議論を進めており、経済学分野にも分科会が設けられ、参照基準が検討されている。当該分科会調査によれば、世界大学ランキングの経済学分野における上位大学では、経済学科のカリキュラムの必修科目に「マクロ経済学」「ミクロ経済学」を設定しており、上位大学の85%はこれらのみを必修科目としている。日本の大学の経済学科でも9割以上の大学でこれらを必修科目に加えており、約4割の経済学科はこれらのみを必修科目としている。このように、「マクロ経済学」「ミクロ経済学」は、現在の世界の大学における経済学教育を構成する基礎的な領域であると言える。

【参考3：今回のプレゼンテーションをお願いするリーダーのプロジェクト紹介】

1) 「科学技術イノベーション政策の経済成長分析・評価」

プロジェクトリーダー 楡井 誠 一橋大学イノベーション研究センター准教授

目的（概要）：経済政策分析において標準となっている動学一般均衡モデルに科学技術イノベーション政策を導入する。これによって科学技術イノベーション政策の国民経済厚生への効果を測定する基本的な枠組みを提示し、政策シミュレーションをはじめとする評価体系を構成する。また、国全体でのマクロな分析や手法開発のみならず、個別施策領域の手法開発に取り組み、これをマクロな取り組みにフィードバックすることにより、より現実性の高い手法へと改善する。

2) 「科学技術イノベーション政策と補完的な政策・制度整備の政策提言」

プロジェクトリーダー 青木玲子 一橋大学経済研究所教授

目的（概要）：農業と再生医療の先端的実用化技術が効率よく社会実装されるために必要な政策・制度設計をして提案する。設計の段階で生産者、産業従事者、研究開発者、医者、政策決定・実行者などのステークホルダーの利害及び相関関係を従来の慣行や規制および既存の産業行動に特徴的な政治的な要素もふくめて把握し、製品の品質・安全性などの公益性や新たな企業倫理導入の視点、産業としてのイノベーション促進また安全保障および国際貢献など両分野の共通点に着目してミクロ経済学的アプローチで分析して設計をおこなう。これらの結果に基づいて実行可能な政策提案を行い、広義の科学技術イノベーション環境改善に貢献する。

【上記内容に関するお問い合わせ】

独立行政法人科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター

「科学技術イノベーション政策のための科学 研究開発プログラム」事務局（担当：前田、佐野）

E-mail：stipolicy@ristex.jp Tel：03-5214-0132